

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 12日

静岡県知事殿

提出者

住所 栃木県大田原市北金丸2600-1

氏名 学校法人国際医療福祉大学

理事長 高木 邦格

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0287 - 24 - 3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	国際医療福祉大学 熱海病院		
事業場の所在地	静岡県	熱海	市 東海岸町13-1
計画期間	2024年4月～2025年3月		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	医療業		
② 事業の規模	許可病床269床		
③ 従業員数	670名		
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物発生→産業廃棄物保管庫→排出(収集運搬委託業者)→中間処理		

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

## 医療機関管理者

熱海市東海岸町13-1 国際医療福祉大学熱海病院 院長 山田佳彦 電話：0557-81-9171

## 廃棄物管理責任者・廃棄物処理計画書統括責任者

熱海市東海岸町13-1 国際医療福祉大学熱海病院 院長 山田佳彦 電話：0557-81-9171

## 廃棄物処理計画書作成部署

熱海市東海岸町13-1 国際医療福祉大学熱海病院 管理課 電話：0557-81-9171

## 院内清掃業者

港区赤坂4-1-26 (株)医療福祉運営機構 代表取締役 市原克巳 電話：03-5770-3781

## 収集運搬業者

小田原市南鴨宮3-34-31 (株)大相 代表取締役 芦川義直 電話：0465-47-1414

## 中間処理業者

大阪市西淀川佃6-4-8 (株)共栄メソナ 代表取締役 高島浩司 電話：06-472-9958

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	感染性廃棄物	106.263 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) 新型コロナウイルス感染症対策の個人防護具の消費量増大に伴い、廃棄量も増大しており正しい装着方法の再徹底を実施するなど無駄を極力抑えた。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	排出量
	感染性廃棄物	100.950 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の分別を徹底し、容器にできるだけ詰め込む工夫を実施する。	

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 院内感染防止対策マニュアル 医療廃棄物の取り扱い 5. 感染性廃棄物の判断 感染性廃棄物の判断フローに則った分別。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 院内巡視を実施し直接指導を行うなど分別の徹底を強化する。

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量
	感染性廃棄物	0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量
	感染性廃棄物	0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量
	感染性廃棄物	0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量
	感染性廃棄物	0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

--	--	--	--

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量				
	感染性廃棄物	0.000 t				
		0.000 t				
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量				
	感染性廃棄物	0.000 t				
		0.000 t				
	(今後実施する予定の取組)					
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	感染性廃棄物	106.263	0.000	0.000	0.000	106.263
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(これまでに実施した取組) 毎年一回、適正に処分されているか積替え保管場所及び各処分場（優良を除く）を実地確認する。						

②計画	【目標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	感染性廃棄物	106.263	0.000	0.000	0.000	106.263
		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>リサイクル可能な資源の再利用を積極的に取り入れ総排出量の抑制に努める。</p>						
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和5年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	106.263 t				
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <p>毎年一回、適正に処分されているか積替え保管場所及び各処分場(優良を除く)を実地確認する。</p>					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。